

発行：平成23年1月10日  
広報委員会

〒184-8511 東京都小金井市桜町1-2-20 / TEL042-383-4111(代) <http://www.sakuramachi-hp.or.jp/>

## 基本理念 私たちはキリストのように人を愛し 病める人、苦しむ人 もっとも弱い人に奉仕します

### 基本方針

1. 地域医療機関と強い連携を保ち、地域に根ざした信頼される病院運営をめざします。
2. 患者さまの全人の（身体的、精神的、社会的、靈的）ケアを行います。
3. 全職員のよいチームワークによる患者さま中心の医療を行います。
4. 常に自己研鑽に努め、質の高い、安心な医療を提供します。
5. 患者さまの訴えに誠心誠意耳を傾けます。

### 患者さまの権利と責任

1. 患者さまは、人間としての尊厳を尊重されながら医療を受ける権利があります。
2. 患者さまは、どなたも、どのような病気でも平等かつ公平に必要な医療を受ける権利があります。
3. 患者さまは、病状と経過、検査や治療の内容について、分かりやすい言葉で説明を受ける権利があります。
4. 患者さまは、十分な説明と情報に基づき、自らの意思で医療内容を選択する権利があります。
5. 患者さまが、セカンド・オピニオンを希望される場合、当院は早く診療情報を提供します。
6. 患者さまは、お互いの療養環境を守るために、定められた諸規則を守る責任があります。

## 新年のご挨拶

### 「年頭にあたって」



病院長 柴崎 啓一

明けましておめでとうございます。

聖ヨハネ会桜町病院は平成18年11月に二度目の全病棟再改築を終了し、更に、翌19年11月には病院機能評価の認定も戴きました。しかし、病院の運営面では種々の旧弊からの脱却を果たしておらず、加えて、病棟再改築後に開始した諸施策が大幅な出費を生み、一層の経営危機を招いておりました。

平成19年8月に私は病院長に就任致しましたが、翌年の初めより聖ヨハネ会本部にお願いして経営コンサルタント会社による経営分析を行い、同時進行的に院内全部門から構成された経営改善委員会を毎週開催し、種々の改革案を策定・実施して参りました。即ち、栄養科の食器洗浄業務並びに院内清掃業務について委託業者の全面変更を行い、外部業者に委託していた職員食堂の運営は栄養科の管理業務に戻しました。そのほかにも、定期的に開催した職員集会で経営状況の周知を図り、職員全員の理解を得て院内各種業務を効率化し、診療面でも医師の拡充および診療業務の拡充・活性化に努めました。

業務改善に着手して3年目の今日、財政の危機的状況を脱却することが出来たようです。職員全員が一丸となって努力した成果ですが、聖ヨハネ学園のご協力も戴きました。定床数199床の聖ヨハネ会桜町病院は現時点で一般総合病院として常勤医師24名及び看護師163名を擁しております。診療可能な全疾患に対して地域連携を念頭に置いた診療を行っておりますが、今後、各診療科並びに事務・管理部門の機能を一層充実させ、小金井市内の中核病院として地域住民の方々の期待に応えて参ります。今後の院内情報は復刊した本誌「さくら」を通じて皆様に逐次お示しする予定です。

### 「桜町病院の今」

副院長 小林 宗光

明けましておめでとうございます。

日頃より医療連携にご理解とご協力を頂き有難うございます。

柴崎院長の下、多方面の改善を行いながら、診療面の充実にも努力してきました。内科、外科、整形外科、産婦人科、麻酔科に医師が補充・増員され、医師の世代交代も進み、活気ある病院に生まれ変わりました。産婦人科、整形外科で手術症例が大幅に増加しました。また平成20年に発達障害の小児を対象にした教育（感覚統合療法）を開始、平成22年にはFMD検査の装置を導入いたしました。

今後とも安全かつ安心できる良質な医療が提供できるよう、職員一同努力していきたいと思います。

### 「年の始めにあたり」 事務部長 富田 周次

新年明けましておめでとうございます。職員の皆さんには健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。私にとりましては、桜町病院で迎えた初めてのお正月ですが、今年も去年以上に地域の皆さん、また職員の皆さんのが満足度が上がる病院運営ができますよう、気持ちを新たにしています。

さて、当院は来年の病院機能評価の更新受審に向けて、その準備を始めました。全職員が受審の意義を共有し、この準備に参加していただきたいと思います。そして診療提供の仕組みや手順、管理体制の整備など、より安全・安心な医療を提供・享受していただけるしっかりととした準備ができるこことを期待しています。来年の新年号では準備が整った状況の報告ができるよう、精力的な取り組みをしていきたいと思います。職員の皆さんのご協力をお願いします。

### 「新年のごあいさつ」 看護部長 石浦美津枝

新年明けましておめでとうございます。

平素は大変お世話になり感謝申し上げます。

看護部では当院の理念の基に患者さんお一人おひとりを尊重し、個別性に応じた看護を提供できるよう努めています。高齢患者さんの入院割合80%の当院では安全、安心の医療とともに優しさ、温かさの伝わる看護ケアを実践できるように力を注いでいます。

昨今、患者さんが一つの医療機関で治療や療養を完結されることは少なく、地域においては病院間の転入院、在宅療養への移行が効果的に行えるよう取組みが求められています。看護部でも顔の見えるネットワークづくりを目指した近隣病院の看護管理者会議に参加し、現在では病院に加え訪問看護、老健や介護療養部門職員の方々へも発展した連携会議の交流の中で様々な教えを頂いているところです。

今後とも、皆様のご指導をよろしくお願い申し上げます。

# 整形外科の紹介

整形外科部長 大堀 靖夫

平成22年4月から桜町病院整形外科は私と増岡一典医長が入職し、常勤医師が4人（柴崎啓一院長、山口美樹医師、増岡医師、私）+非常勤医師1人という充実した体制となりました。入院診療においては、これまで武蔵野日赤病院、杏林大学病院、多摩総合医療センターといった北多摩地域の急性期病院と連携医療を組み回復期リハビリテーションを主体に取り組んでまいりましたが、今年度からはこれに加えて、脊椎疾患（腰部脊柱管狭窄症や腰椎椎間板ヘルニアを代表とする腰椎疾患や頸椎疾患）の患者様の手術を積極的に行っており、長年ブロックや薬のみでは取れなかった愁訴が軽減したと喜んでいただいております。また、骨折や腱断裂など外傷で来院された患者様にも痛みの軽減や早期の日常生活復帰を目指して積極的に手術を行っております。特に寝たきりとなる可能性が高い、高齢者の大腿骨近位骨折では1週間以内の可及的早期に手術を行い、介護の度合いが上がらないように努めています。術翌日または2日後には車椅子に移乗し、リハビリスタッフによる起立歩行訓練が開始されます。

平成22年4月～11月の8ヶ月間の入院手術は骨折や腱断裂など外傷手術32例、脊椎手術29例、その他手術（切断術、手の神経手術等）8例となっており、今後も増加が見込まれます。

整形外科医師は、常勤リハビリテーションスタッフ（理学療法士6名、作業療法士4名、言語療法士1名）、看護スタッフ、退院後の環境調整を含め様々な相談に取り組んでくれるメディカルソーシャルワーカー（MSW）スタッフ3名、薬剤科スタッフ、栄養科スタッフらと毎週合同のカンファレンスで密接に話し合いながら入院診療における方針を決めております。

外来診療においては、平日2診体制（土曜1診）のフル回転で患者様になるべくお待たせすることのない様スタッフ一同頑張っております。脊椎疾患を中心に診断、治療にMRIが必須となる場合もありますので受診が数度になる場合もありますが、その分わかりやすく納得のいく説明がなされるものと思います。また中高齢者の腰痛（円背や圧迫骨折）や骨折の原因となる骨粗鬆症には、

整形外科一丸となり取り組んでおります。当院では前腕骨による骨密度測定が簡単に当日すぐにできますので、ご希望の方は是非お気軽にお声かけください。また骨吸収マーカー（NTX）や骨形成マーカー（BAP）、血中カルシウム値など骨粗鬆症治療の選択に必要な各種マーカーの測定（血液検査）や新規治療薬の採用により最新の医療がお届けできるよう心がけております。

整形外科外来では、急性・慢性期の疼痛性疾患に対して各種ブロック治療（仙骨硬膜外ブロック、トリガーポイントブロック、仙腸関節ブロックなど）や各種関節内注射による治療、膝や腰椎の装具治療、リハビリテーションスタッフによる治療（各種体操指導・理学療法など）を組み合わせて治療を行っております。その他、ばね指、腫瘍切除など小手術は日帰りで行っております。

病気を疾患単位にひとくくりに見るのではなく、患者様お一人お一人がどのような治療に最も合うのか、ご要望も含めて判断しながらオーダーメイド的な診療ができるように心がけております。整形外科疾患は全身多岐にわたりますので、ご自身で何科を受診されるのか迷われる場合も含めてまずはお気軽にご相談ください。



MRI 腰部脊柱管狭窄症

## 血管内皮機能検査（FMD）検査を行っています。

FMD検査は、生活習慣病やメタリックシンドロームが引き起こす心筋梗塞や脳卒中を予防するために、血管内皮（常に血液にさらされている血管の最も内側）の動脈硬化の初期の状態を調べる検査です。健康な血管は、イキイキしていますが、知らず知らずのうちに血管は、内側から変化し、動脈硬化が進んでいきます。この検査では血管の最も内側が、イキイキしているかをエコーを当てて調べます。測定時間は約20分です。

検査に関しては内科にご相談ください。

この検査装置の導入は、多摩地区では当院が初めてとなります。



# 後発医薬品（ジェネリック医薬品）について

薬剤科長 池淵 剛

## 1. 後発医薬品の院内採用について

後発医薬品（ジェネリック医薬品）という言葉をテレビCMや新聞の広告でも、よく見聞きするようになっています。社会保障費が高騰していく折、医療費削減の中心となっているのが後発医薬品の普及促進です。

国は、療養担当規則の「投薬の方針」に後発医薬品の使用促進項目を盛り込み、診療報酬・調剤報酬改定においても、後発医薬品使用体制加算を創設し、今まで以上に積極的に後発医薬品の使用を進めることを要求しております。こうしたなか、当院でも後発品の採用を増やす検討を重ね、今年度から入院で使用する内服薬80種類を後発医薬品に変更することにしました。

## 2. 後発医薬品は、「安い」と宣伝されているけど大丈夫なの？

後発医薬品は、先発医薬品と同様に様々な基準を守って製造され、品質・有効性・安全性について、国で審査されています。主成分に関しては、国の基準によって、溶出試験や生物学的同等性等の試験を通じて、先発品と同等とい

う試験結果が得られていますが、主成分以外の添加物などは、異なることもあるため、添加物によるアレルギーや、吸収の違いなどが生じることも否定できません。また、味や使用感なども変わることもあります。このように、先発医薬品と100%同じであるとは言えませんが、同等の効果があるといわれています。

## 3. 院外処方せんで後発医薬品はどうすればもらえるの？

後発医薬品も医療用医薬品ですので、お医者さんの処方せんが必要です。

当院では、平成20年4月からの処方せんの様式変更に伴い、原則、後発品に変更できる処方せんを発行しています。

院外薬局の薬剤師さんと話し合って、先発医薬品と後発医薬品について、それぞれの特徴や価格などの説明を受けてください。そのうえで、患者さんは、お薬を選択できます。ただし、後発医薬品がないお薬があったり、お医者さんの治療方針で後発医薬品を使わない場合もありますので、ご留意ください。

## おせち料理

栄養科長 松尾 敦子



お正月に食べる祝いの料理  
がおせち料理。

一年中食材が自由に手に入り、現代  
では百貨店等でも手軽に購入できるよう  
なりました。

しかし、おせち料理に込められた意味は昔も  
今も変わらないかもしれません。

代表的なものあげると、

黒豆は一年中まめに勧けますようにという意味があ  
り、良質なたんぱく質、皮には食物繊維が豊富です。イ  
ソフラボンも含んでいるのでコレステロールを下げる効  
果もあります。

田作りは豊作を願う意味があり、カルシウムが豊富でカル  
シウムの吸収を助けるビタミンDも含んでいます。

数の子はたくさんの卵を持つことから子孫繁栄を意味し  
ていて、ビタミンEが豊富ですがコレステロールが多いの  
で要注意。

このようにおせち料理は、栄養も豊富ですが、保存性を  
高めるために、味つけが濃いものや砂糖をたくさん使用し  
ているものがほとんどです。

手作りするときには、少し薄味にしてみたり、低カロ  
リー甘味料を使ってみるなどの工夫をすると体にやさ  
しいですね。

また、葉物が少なめなので、おひたしやサラダなど  
をプラスするとバランスも取れるのではないか  
でしょうか。

この機会に栄養や意味を考えながら食べ  
てみるのも良いかもしれません。

そして伝統的な日本の食事文化を  
いつまでも大切にしていきた  
いものです。



## トピックス

### 学術講演会開催

11月24日（水）、当院ホスピス棟研修室において、小金井市医師会との共催による学術講演会を開催。東京医科大学病院消化器内科 森安主任教授による「肝がんの最近の話題 診断と治療の最前線」の講演があり、医師会の先生方、当院の職員多数が聴講した。

### 病院クリスマス会

12月15日（水）、カトリック小金井教会ヨハネ館において、カトリック東京大司教区幸田司教の「クリスマスのお話」を拝聴し、その後、場所を移してクリスマスパーティーを開催した。



### 自衛消防訓練発表会で最優秀賞受賞

今年度も小金井市消防所主催の自衛消防訓練発表会が、9月7日（火）に小金井公園内広場で行われた。当院からは消火器の部に村下佳秀さん（MSW）と三沢あゆみさん（PT）が参加した。訓練で培った技術を十分に発揮し最優秀賞を受賞した。

### 桜町聖ヨハネ祭に参加

恒例となっている桜町聖ヨハネ祭が10月10日（日）に「さくらまちの構内」で行われた。天候が心配されたが、朝方の雨もやみ晴天下で実施することができた。昨年はノロウイルスの猛威で休止したが、今年はバザー、コンサート等に大勢の方々に来場していただいた。病院内では、医療・看護・ホスピス・福祉・介護の各相談も行われ盛況裡に終了した。

# 外来診療担当表

平成23年1月1日現在

診療科名		月	火	水	木	金	土
内科	午前 内視鏡	新患 楠本(新患)	佐藤(新患)	林(志)(新患)	平峯(新患)	佐藤(新患)	(交替)
		林(志)	瀬口	瀬口	竹内	楠本(予約のみ)	林(正)
		平峯	平峯	竹内	高倉	林(志)	柏本(第3・第5)
		岡本	土持	岡本	佐藤	土持	後藤
		坂田	楠本	太田		柏本	
	午後 内視鏡	石井					
		糸井(月1回)					
		林(正)	井上(優)	大井(裕)(第2)	井上(優)		
			佐藤				
				福神	高倉	栗原	
精神神経科	午前	寺田(新患)	寺田	寺田	寺田	仁王(新患は予約制)	寺田
		森本(新患は予約制)			宮島(新患は予約制)		黄野(再診のみ)
小児科	午前	小林	小林	小林	杉立	小林	小林
		杉立	山田	杉立	山田	杉立	杉立
		山田		山田			山田
	午後	小林(心臓)	小林	杉立(一般・神経)	杉立		
		山田	山田	山田	山田		
	予防接種		町田(一般・アレルギー)		増古		
外科	午前	杉立		小林			
		植木	池野	李	植木	池野	池野(第2・第4)
	内視鏡				植木	池野	植木(第1・第3) (交替)(第5)
乳腺外科	午後					井本	
脳神経外科	午後			石島(紹介患者のみ)			
整形外科	午前	大堀	柴崎	大堀	柴崎	大堀	佐藤
		山口	増岡	山口	増岡	山口	(交替)
リハ	午前				補永		
	午後					高橋(最終)	
産婦人科	午前	長谷川(美)	長谷川(美)	向田(利)	加藤	伊東	向田(利)
		加藤	松本	松本	井坂 10:30 ~	小島	長谷川(美)
			向田(一)		長谷川(真)		
眼科	午前	大井	大井	宮本(第1・第3)	大井	大井	平岡
ホスピス科	午前	小穴					
				小穴		林	
	午後			林			
				大井			

## 休診日

日曜・祝日・年末年始(12/30~1/3)

## 受付時間

8:30~11:30

午後診のある診療科の受付時間は各科により異なりますので、各科にてご確認ください。

## 診療時間

9:00~  
13:30~

月曜日~金曜日の14:00~15:30の間、電話による予約受付を行っております。

電話 042-383-4111(代表)

ただし、一部の科では電話予約は行っておりません。精神神経科は初診、再診とも全て予約制となっております。

## 編集後記

平成23年新春。この度、数年前に創刊し、その後発刊が途絶えていました当院広報誌『さくら』を復刊させていただく運びとなりました。当院からの情報を発信する一方、地域の皆様からのご意見をお寄せいただきたいと考えています。年3回発刊していく『さくら』が当院と地域の皆様との情報交換の場となり、皆様に親しみを持っていただける情報誌となりますよう努めてまいります。(周)